

留学を終えて

情報文化学科 2年 上條真季

私は海外に行くのが初めてでロシアに行く前は緊張と不安でいっぱいでした。ですが終わってみるとロシアで過ごした4ヶ月間は非常にあっという間で、日本に早く帰りたいと思ったことは一度もありませんでした。

ロシアでは水道水が飲めない、お店の店員は無表情、寮ではゴキブリが出る、外は日本では考えられないくらいの寒さといったような日本で生活しては経験できないことがたくさんあり、最初は戸惑ったものの貴重な経験ができました。

私はロシアで出会った友達と関わった毎日が最も思い出に残っています。ロシア人の友達とは10月くらいに知り合い散歩やカフェや買い物を一緒にしました。はじめは友達が言っていることがすぐに理解できず、とても悔しい思いをしました。ですが友達は何度も言ってくれたり、簡単な単語に言い換えてくれたりしてくれました。この悔しい思いをしたからこそもっと友達と話せるようになりたいと感じ、よりロシア語を勉強する意欲が湧きました。クラスメートともお互いに勉強を教えあったり、クラスメートの家に遊びに行ったりしました。一緒にスポーツをしたり話したりしてもっと友達のことを知ることが出来ました。クラスメートの子が自国についても話してくれ、自分がイメージしていた他国の印象とは大きく違っていたので、自分の知識の少なさも改めて実感しました。クラスメートとは今でも連絡をとり合うくらい仲良しで帰国するときは離れるのが本当に辛かったです。また、他クラスと合同でバーベキューをしたことでたくさんの人と関わることが出来、友達の輪も広がりました。

授業では最初はまったく先生の言っていることが分からず、落ち込む毎日でした。ですが徐々に慣れてくると少しずつ理解できるようになり、自分でも成長を感じられたときは嬉しかったです。ロシア人の先生も根気よく教えてくださりとても優しく、授業も分かりやすく、非常に楽しく授業に参加していました。

ロシアの街はお店もたくさんあり、休日に出かけるのがとても楽しみでした。おしゃれなカフェを見つけたり、雑貨屋に行ったりしました。11月以降のロシアは非常に寒かったのですが、外に出て雪合戦をしたり、夜景を見に行ったり、海が凍っていたので海の上を歩いてみたりしました。夜景は日本では見たことのない美しさで本当に最高の景色でした。凍った海を見たときは初めて見る光景で非常に驚きました。

この留学を通して授業では自分から発言するようになり、友達にも、つたないロシア語ではありましたが話したりして留学に行く前よりも積極的になれたと感じます。ロシアで過ごしたことで日本がどれだけ暮らしやすいのか、日本がどれだけ快適なのかを身をもって感じる事が出来ました。また、他国の人と話すことで文化の違いや、自分の価値観、知識の低さを痛感しました。忙しい日々でしたが、ロシアで生活した4ヶ月間は毎日が充

実していて本当に最高でした。このような思い出深い留学生活が出来たのも家族、先生方、一緒にこの留学生活をした友達の支えがあったからです。ロシアで経験してきたことを糧にしてこれからの将来に少しでも生かしていきたいです。